

# ぎふハチドリ基金 2024年度助成事業募集要項

「ぎふハチドリ基金」は、地域に密着している市民団体の活動を資金面から応援することで、岐阜県内の子ども・若者・子育て家庭を支える仕組みです。

「ぎふハチドリ基金助成事業」は、市民から寄せられた寄付金を活用し、岐阜県内で、子ども・若者・子育て家庭を支援する事業に助成します。

## (1) 助成メニュー

### **A 事業助成** (【すぼっと助成】【はじめる助成】【つづける助成】【はばたく助成】の共通事項です)

さまざまな理由から困難を抱えている子ども・若者・子育て家庭が、自分らしく安心して暮らせるよう地域で支える取組みに対して、必要な費用を助成します。

#### <事業助成 対象事業>

- (ア) 「子どもの貧困」対策（貧困の連鎖を断ち切る）事業
- (イ) 困難を抱えた子どもを支援する事業
- (ウ) 困難を抱えた若者を支援する事業
- (エ) 困難を抱えた子育て家庭を支援する事業
- (オ) その他、子どもや若者をめぐる課題を解決するための事業

\*今までの助成事業の例

・学習支援活動 ・居場所づくり ・食事・食糧の提供 ・就労支援 ・相談活動 など

#### **【すぼっと助成】** 1件あたり上限10万円 最大5件程度

困難を抱える子ども・若者・子育て家庭を支援する事業に必要な費用の一部を助成します。物品の購入費や材料費など、単一の経費でも構いません。

事業内容のわかりやすさ、その経費の必要性、重要度を重視します。

\*単一経費の例

子ども食堂の食材費、活動に必要な備品の購入費、交流会の会場費 など

#### <要件>

団体の実績は問いません。

#### **【はじめる助成】** 1件あたり上限30万 最大4件程度

困難を抱える子ども・若者・子育て家庭を支援するスタート間もない事業や、これから新しく始める事業について助成します。事業の「スタート」や「やってみたい思い」を応援します。

#### <要件>

子ども・若者・子育て家庭支援事業の実績が3年以下の団体であることとします。

#### <補足>

申請書の書き方などについて事前の個別相談に参加することをおすすめします。

### **【つづける助成】** 1件あたり上限40万円 最大7件程度

困難を抱える子ども・若者・子育て家庭を支援する事業の継続を応援します。事業計画や予算の中に、事業継続のための取り組みを加えてください。また、組織や事業の基盤強化のために法人化や資金調達に取り組む事業も対象となります。

#### \*事業例

- ・上記<事業助成 対象事業>に記載のある事業
- ・<事業助成 対象事業>の基盤を強化するための事業  
例) 法人格の取得、ニーズ調査、資金調達の仕組みづくり、スタッフのスキルアップ研修 など

#### <要件>

子ども・若者・子育て家庭支援事業の実績が1年以上あることとします。

### **【はばたく助成】** 1件あたり上限100万円以内 最大4件程度

困難を抱える子ども・若者・子育て家庭を支援する事業の活動規模（活動内容、対象者、対象地域等）を拡大する取組みを応援します。中長期（3～5年）計画がある活動を対象とします（申請と審査は単年度ごとです）。複数の団体と協働して実施することもできます。

#### \*事業例

- ・上記<事業助成 対象事業>の対象者・対象地域を拡げる。ネットワークを構築するなど

#### <要件>

- ・子ども・若者・子育て家庭支援事業の実績が3年以上あることとします。
- ・今後の目標を持った活動であることとします（3～5年の中長期計画を記入）。
- ・当基金が開催する報告会で、事業の成果を発表することとします。

## **B 利用者負担軽減助成** 1件あたり上限20万円 総額100万円程度

団体が実施している以下のような活動の利用料等を、経済的困窮家庭に対して軽減する場合、団体が負担した軽減分を補てんします。

#### <利用者負担軽減助成 対象事業>

(ア) ファミリー・サポート事業、学童保育事業など、子どもを預かる事業

例：①学童保育などの有料サポートを行う際、経済的な事情がある人の利用料を団体の負担で規定の金額の半額にした場合、その半額分を助成

②子育て家庭等を支援する事業に関する利用料等を助成

(イ) 困難を抱える家庭の子や若者への個別支援事業

例：①サマーキャンプなどの体験活動への参加費を助成

②学習支援や居場所等への往復の交通費や利用料金を助成

(ウ) その他、「ぎふハチドリ基金」の設立趣旨に沿った内容と思われる事業

#### (2) 冠寄付金について

企業・団体等から一定の要件に基づいた「冠寄付金」を受けています。  
採択された事業の中から、各冠寄付金を原資とする事業を選びます。

<冠寄付金（2024年3月現在）>

**[1] 東海ろうきん未来応援寄付金**

寄付者：東海労働金庫 様

対象事業：新しい挑戦や発展的な取り組みがある事業

2024年度助成予定額：総額 300 万円

**[2] こくみん共済 coop・子ども成長基金**

寄付者：こくみん共済 coop 岐阜推進本部 様

対象事業：親子の居場所、親子交流会など、親子が地域とつながる事業

2024年度助成予定額：総額 20 万円

**[3] たんぽぽ薬局キッズまんぷく基金**

寄付者：たんぽぽ薬局株式会社 様

対象事業：子ども食堂や食糧支援など、子どもの「食」にかかわる事業

2024年度助成予定額：総額 32 万円（うち 18 万円は決定済）

\*2023 年度採択（2 年継続）の「こども食堂応援助成」の合計 18 万円は決定済

(3) 対象となる団体

岐阜県内の N P O 等の非営利団体で次の条件をすべて満たす団体

（メニューによっては、実績等の条件が加わります）

①岐阜県内に主たる事務所がある。

②組織の情報（活動場所・連絡方法等）をインターネット上で公開している（検索できる）。

・ N P O 法人の場合は所轄庁に直近の事業報告書を提出していること。

・ 申請時点でできていない場合は、採択後にできるようにすること。

③事業の実施体制が整っている。

【つづける助成】、【はばたく助成】は対象事業の主責任者 1 人と副責任者 2 人が必要です。

④事業の実施状況を適宜メールで報告できる。

各事業について、事務局から、随時、進捗状況についてお伺いします。

⑤採択された場合は、採択団体発表会（2024年6月28日午後、於：みんなの森ぎふメディアコスモス）に出席できる。

(4) 対象となる費用

・ 申請事業に必要な経費

講師謝金、消耗品費、旅費交通費、通信費、印刷費、賃借料、水道光熱費、保険料、内部人件費など

・ 事業計画に記載のない経費は対象になりません。

・ 内部人件費を計上する場合は、事業を実施する時に、勤務表など活動の実態がわかる書類を作成してください。

<注意事項>

「A 事業助成」

【すぽっと助成】

\*単一の経費（「消耗品費のみ」等）でも可能です。

\*1 点あたり 5 万円を超える物品を購入する場合は金額の根拠書類（見積書等）が必要です。

【はじめる助成】、【つづける助成】、【はばたく助成】

\*内部人件費は助成希望額の 1/2 以内とします。

\* 1 つの経費が突出することは避けてください。

\* 事前個別相談で予算の整合性のチェックを受けることをおすすめします。

◎他の助成金等との併用について

他の助成金や補助金をもらって実施している事業の場合は、他の助成金や補助金で、対象外になっている費用や他の助成金等の予算額を超える分（自己負担分）について申請することができます。

(但し、他の助成金や補助金の条件をよく確認してください。)

他の助成金を併用する場合は、他の助成金等の内容（助成元、事業名、助成額等）と助成対象となる経費を予算書に明記してください。

報告の際には、領収書の写しと他の助成金・補助金の支給額・対象費用等がわかる書類の写しを添付していただきます。

「B 利用者負担軽減助成」

\* 利用料等の負担軽減の対象者（条件）、利用者からの入金がわかる書類の写し、正規の金額との差がわかるものを報告の際に提出できるようにしてください。

\* 交通費等の費用の助成の場合は、費用の計算根拠を明示し、利用者の領収書を添付してください。

\* 事前に個別相談を受けることをおすすめします。

(5) 事業の対象実施期間

2024年4月1日～2025年3月31日 \* 4月にさかのぼって申請できます。

(6) 助成金額

○「A 事業助成」 総額 700 万円

【すぽっと助成】1 件あたり上限 10 万円 最大 5 件程度

【はじめる助成】1 件あたり上限 30 万円 最大 4 件程度

【つづける助成】1 件あたり上限 40 万円 最大 7 件程度

【はばたく助成】1 件あたり上限 100 万円 最大 4 件程度

○「B 利用者負担軽減助成」 1 件あたり上限 20 万円 総額 100 万円程度

\* A に申請できるのは 1 件のみです。A と B の両方に申請することはできません。

\* 助成希望額より減額して採択される場合もあります。

減額する場合は助成希望額の 20%以内とします。

但し、事業計画に関係がない経費、積算根拠がない経費は助成の対象となりません。

(7) 審査の基準

1. 団体の組織および活動が公益的で信頼できるものであるか。
2. 団体の経理体制、決算の情報開示が適正であるか。
3. 申請事業の目的、内容がぎふハチドリ基金の趣旨に合っているか。
4. 申請事業の内容が具体的であり、実現性が高いか。
5. 申請事業の予算が適切であり、助成金の必要性が高いか。
6. 申請事業の今後の継続・発展が期待できるか。

(8) スケジュール

○個別相談期間 2024年3月16日～5月15日（オンライン可。事前に予約して下さい）

個別相談期間では、申請書の書き方などについて事務局がアドバイスをしますので、可能な限り参加

することをおすすめします。

- 申請書類受付期間 2024年4月1日～5月20日（メールは23時59分まで。郵送は消印有効）  
申請書は郵送またはPDF化の上、メールで送付してください。  
添付書類は郵送してください（消印有効）
- 募集説明会等 3/30美濃加茂市、3/31中津川市、4/6岐阜市、4/13高山市で開催
- 対象事業の決定 2024年6月7日・17日（審査会）6月19日（理事会）  
2024年6月28日午後（採択証書交付式：ぎふメディアコスモス）
- 事業の実施 2024年4月1日～2025年3月31日
- 実施報告書の提出 事業終了後できるだけ早く。最終は、2025年4月10日まで
- 助成金の配分  
「A 事業助成」は、採択後1か月以内に先払いします。  
「B 利用者負担軽減助成」は、実施報告書提出後1か月以内に支払います（精算払い）。

## (9) 提出書類

- ①申請書（鑑）
- ②団体概要書

（A事業助成【はばたく助成】で複数の団体と協働で実施する場合は、協働の必要性、意義を明確にした上で、代表団体を決めて申請してください。協働団体の団体概要書も必要です）

- ③事業計画書（各メニューで様式が異なります）
- ④事業予算書（各メニューで様式が異なります）
- ⑤NPO法人以外の団体の場合は、団体の規約
- ⑥直近の活動計算書（または収支決算書）
- ⑦直近の貸借対照表（または財産目録）（※）

\*初年度の場合は、⑥、⑦に代えて、2024年度の予算書を提出してください。

\*3月末または4月末決算で、通常総会が終わっていない団体は、2022年度（令和4年度）分または総会前のものを提出してください。

（採択された団体には、後日2023年度（令和5年度）分をご提出いただきます）

（※）【すぼっと助成】、【はじめる助成】に申請する任意団体で、貸借対照表がない場合は、採択後に事務局にご相談ください。（ぎふNPOセンター主催、ぎふハチドリ基金共催の会計講座でも学ぶことができます）

- ⑧添付書類 事業の内容や団体の活動がわかる参考書類  
（チラシ、リーフレットなどは、可能な限り**8部**ご提出ください）

\*①～④の様式は、「ぎふハチドリ基金ホームページ」からダウンロードしてください。

ぎふハチドリ基金ホームページ <https://gifunpo-fund.org> または「ぎふハチドリ基金」で検索

## (10) 書類の提出方法

郵送またはメールで提出してください。

\*郵送の場合

申請書1部および添付書類（8部）を下記郵送先にお送りください。

締め切り：2024年5月20日（消印有効）

\*メールの場合

申請書類①～⑦はPDF化して、メールに添付してお送りください。

（一つのフォルダにまとめ、圧縮フォルダにして添付してください）

メール送付先：hachidori@gifunpo-fund.org

件名に「助成事業申請書の送付」とご記入ください。

本文には、団体名、担当者名、連絡先 TEL、e-mail アドレスを明記してください。

⑧の添付書類は別途郵送してください。(消印有効)

締め切り：**メールは2024年5月20日23時59分までに送信ください。**

送信エラーになることがあるので、できるだけ早めにお送りください。

PDFにできない場合はご相談ください。

**添付書類は、5月20日までの消印がつくように投函ください。**

※受信日の翌日中に受信確認の返信をします。

※返信がない場合はご連絡ください。

**【郵送先】** 認定特定非営利活動法人ぎふハチドリ基金

〒500-8384 岐阜市藪田南 5-14-12 シンクタンク庁舎

ぎふNPOセンター内

**【お問い合わせ TEL】** 090-8736-9739 (直通番号)

\*電話相談・お問い合わせは、平日の午前9時～午後6時でお願いします。